

## 健康日本 2 1 福岡市計画の取組状況と評価

1 計画期間 平成 13 年度～24 年度

2 計画の性格

- ・市民と行政の行動計画
- ・健康増進法第 8 条第 2 項に基づく市町村健康増進計画

3 目的

市民一人ひとりが自主的に健康づくりを進めていけるよう、個人の健康目標や市民の健康づくりを支援する行政や関係団体等の役割を明確にし、社会全体で健康づくりに取り組むことで、40 歳から 50 歳代の壮年期、いわゆる働き盛りの世代の死亡数を減らし、さらには市民の健康寿命（痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間）を延伸させ、生活の質の向上を図る。

4 基本的な方向性

- (1) 市民が主役の健康づくり
- (2) 積極的に健康を増進して病気を予防する一次予防の重視
- (3) 健康目標の設定 「健康ふくおか 10 か条」「世代別・疾病別健康目標」
- (4) 関係者の役割の明確化と連携
- (5) 生活習慣病対策の推進
- (6) 健康づくりの視点を持ったまちづくり

5 推進体制

(1) 地域（校区）における計画推進

地域での自主的な健康づくりを、校区担当保健師はじめ、保健福祉センター全体で支援

(2) 区における計画推進

保健福祉センターを中心に、区レベルの計画推進会議を行い、区役所全体で計画を推進

(3) 全市的な計画推進

地域・企業・マスメディア・保健医療専門家他による「健康日本 2 1 福岡市計画推進会議」を設置し、社会全体での健康づくりを推進

## 計画推進のイメージ



## 6 経過

- ・平成13年度 「健康日本21福岡市計画」策定
- ・平成15年5月 健康増進法制定…計画を市町村健康増進計画として位置づけ
- ・平成18年度 「健康日本21福岡市計画」の中間評価・見直し  
「運動」「食事」等に改善が見られないことから、気軽な運動の推奨等の新たな健康目標の設定や、市民へのPR強化、地域での自主的な活動強化など、後半期の重点取り組みを設定
- ・平成20年度 「健康日本21福岡市計画」の追加・増補  
国の医療制度改革等を踏まえ、メタボリックシンドローム関連の新たな目標を設定

7 健康づくり施策の概要(平成24年度予算)

2,295,159千円

ア 健康づくりの推進

267,647千円

事業名	事業内容		予算額
	これまでの取り組み	24年度の実施方針	
健康日本21 福岡市計画推進	<p>○「健康日本21福岡市計画推進会議」を開催し、実践的な取り組みを推進</p> <p>○次期計画策定に向けて、有識者等による準備検討会を開催</p>	<p>○現行「健康日本21福岡市計画」の評価を行うとともに次期計画の策定を行う。</p>	<p>千円</p> <p>9,059</p>
福岡市健康づくり チャレンジ事業	<p>○10月の健康づくり月間を中心に、行政・企業・大学等が連携した健康づくり関連事業の集中開催・集中PRを行うことにより、市民の自主的な健康づくりを支援</p>	<p>○引き続き企業・大学等と連携して健康づくり関連事業の集中開催・集中PRに取り組むとともに、より多くの関係団体等の参加を図りながら、市民の自主的な健康づくりを支援する。</p>	<p>10,277</p>
健康教育・健康相談	<p>○主に壮年期の市民を対象に、各区保健福祉センターの保健師等が、同センターや公民館において生活習慣病予防など、健康に関する正しい知識の普及啓発や助言指導を行い市民の健康増進を図る。</p> <p>【平成23年度実績】 健康教育 1,693回 参加34,719人 健康相談 644回 参加19,773人</p>	<p>○引き続き実施し、市民の健康増進を図る。</p>	<p>9,918</p>
健康づくりセンター 事業	<p>○市民の自主的な健康づくりを支援するため、健康づくり財団を指定管理者として、健康づくりの調査・研究、教育・研修、普及・啓発を実施</p> <p>○健康日本21福岡市計画及び健康づくりセンター見直し委員会からの提言を踏まえ、健康づくりセンターの機能再構築の方向性を決定</p>	<p>○引き続き健康づくり財団による事業実施</p> <p>○平成25年度からの新・健康づくりセンター事業開始に向けた諸準備(新・指定管理者の公募、施設改修にかかる設計実施等)</p>	<p>238,393</p>

イ 生活習慣病対策の推進

796,909千円

事業名	事業内容		予算額
	これまでの取り組み	24年度の実施方針	
特定健診 ・特定保健指導	<p>○国の医療制度改革に伴い、平成20年度より開始となった「特定健診」及び「特定保健指導」を実施</p> <p>・特定健診 【実施状況】 20年度 15.2% 21年度 16.8% 22年度 18.8%</p> <p>・特定保健指導 【実施状況】 20年度 29.9% 21年度 27.2% 22年度 37.2%</p>	<p>○引き続き「特定健診」及び「特定保健指導」を円滑に実施するとともに、受診率向上を図る。</p> <p>・特定健診 【目標】 65%</p> <p>・特定保健指導 【目標】 45%</p>	千円  743,983
よかドック30 &ヘルシースクール	<p>○職場等で健康診断を受ける機会のない30歳代を対象とした、生活習慣病予防のための健診、健康相談会の実施</p>	<p>○ダイレクトメール送付、市政だよりでの広報など、受診者を増やす取り組みを継続</p> <p>○メタボ等で生活習慣の改善が必要な方へのヘルシースクール受講勧奨</p>	49,578
慢性腎臓病(CKD) 予防対策事業	-	<p>○CKD病診連携システム構築やかかりつけ医への研修、市民への知識の普及啓発を実施</p> <p>○特定健診の結果でCKDリスクの高い人への適切な受診勧奨など保健指導を実施</p>	3,348

ウ がん対策の推進

1,100,002千円

事業名	事業内容		予算額
	これまでの取り組み	24年度の実行方針	
がん検診	<p>○各種がん検診の実施</p> <p>○がんに関する知識の普及啓発</p> <p>○がん検診受診勧奨</p> <p><b>【検診受診率(H22年度)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・胃がん:8.5%</li> <li>・大腸がん:6.5%</li> <li>・子宮頸がん:36.7%</li> <li>・乳がん:17.1%</li> <li>・肺がん:2.5%</li> <li>・前立腺がん:6.8%</li> </ul>	<p>○引き続き, がんに関する知識等の普及啓発に努めるとともに, がん検診受診率向上に向け, 受診勧奨に取り組む。</p>	千円  805,025
女性特有の がん検診推進事業	<p>○女性特有のがんである「子宮頸がん」「乳がん」に関する知識の普及啓発及び検診受診率の向上のため, 「子宮頸がん検診無料クーポン券」(20, 25, 30, 35, 40歳の女性), 「乳がん検診無料クーポン券」(40, 45, 50, 55, 60歳の女性)及び検診手帳を配布</p>	<p>○引き続き, 対象者に無料クーポン券等を配布し, がんに関する知識等の普及啓発及びがん検診受診率向上に取り組む。</p>	171,782
働く世代への 大腸がん検診推進 事業	-	<p>○40, 45, 50, 55, 60歳の市民に大腸がん検診無料クーポン券及び検診手帳を新たに配布し, 大腸がんに関する知識等の普及啓発及び検診受診率向上に取り組む。</p>	71,611
肝 炎 (肝がん予防)対策	<p>○保健所, 医療機関での肝炎ウイルス検査の実施</p> <p>○予防等に係る普及啓発, 医療講演会の実施</p> <p>○保健所において, 肝炎治療費助成に係る各種窓口業務, 相談等を実施</p>	<p>○引き続き検査の実施や普及啓発等を充実していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎ウイルス検査の実施</li> <li>・普及啓発事業</li> <li>・肝炎治療費助成制度に係る窓口業務</li> </ul>	51,584

エ こころの健康づくり・自殺対策の推進

63,329千円

事業名	事業内容		予算額
	これまでの取り組み	24年度の取組方針	
こころの健康づくり	<p>○こころの健康づくりや精神障がいに関する正しい知識の普及啓発、精神保健に関する相談及び訪問支援等を実施</p>	<p>○精神障がいやアルコールなど精神保健に関する講演会や各種講座等の実施</p> <p>○精神科医による個別相談、家庭訪問支援の実施</p> <p>○アルコール専門医による相談、家族講座、講演会の実施</p>	<p>千円</p> <p>33,013</p>
成人期ひきこもり地域支援センター事業	<p>○成人期のひきこもり本人やその家族の相談支援を実施</p>	<p>○電話・面接・訪問などの相談事業の実施</p> <p>○ひきこもり成年サポートグループの実施</p> <p>○関係機関とのネットワーク会議の実施</p> <p>○HPなどによる情報発信</p>	<p>13,523</p>
自殺予防対策事業	<p>○うつ病予防対策、自殺に対する早期対応の中心的役割を果たす人材養成の実施</p> <p>○自殺予防対策に関する普及啓発の実施</p> <p>○緊急強化基金を活用した自殺予防対策に関する相談支援の強化や調査研究等の実施</p>	<p>○福岡市自殺対策総合計画の改訂(現計画:平成20年度～平成24年度)</p> <p>○各保健所、各校区におけるうつ病予防教室、内科医等のかかりつけ医うつ病対応力向上研修の実施</p> <p>○自殺予防キャンペーン等による普及啓発の実施</p> <p>○緊急強化基金を活用した事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種による相談チーム活動</li> <li>・I型地域活動支援センターでの夜間電話相談</li> <li>・相談窓口従事者への研修</li> <li>・ハイリスク者支援としての自殺未遂者支援及び自殺予防支援に関する調査研究</li> </ul>	<p>16,793</p>

オ 口腔保健の推進

45,768千円

事業名	事業内容		予算額
	これまでの取り組み	24年度の取組方針	
歯科健診	<p>○妊婦歯科健診 女性の生涯を通じた歯の健康、及び赤ちゃんの健やかな成長のため、妊婦を対象にむし歯と歯周疾患予防のための歯科健診を実施 【H23実績】 受診者数 2,581人(妊婦の17.0%)</p> <p>○歯周疾患検診(節目) 成人期以降の歯周疾患による歯の喪失を予防するため、40・50・60・70歳の方を対象に歯科健診を実施</p> <p>○乳幼児歯科健診 幼稚園・保育園児(1歳および3歳児を除く)に対し、各園で年1回、歯科医師による歯科健診を実施</p> <p>○障がい児歯科健康審査 障がい児の早期からのむし歯等の歯科疾患を予防し、かかりつけ歯科医を持つことを目的に、委託医療機関による歯科健診を年1回実施</p> <p>○妊婦歯科保健指導 保健福祉センターのマタニティスクールで、歯科衛生士が妊娠中や産後、また乳幼児期の歯科疾患予防のための保健指導を実施</p> <p>○1歳6ヶ月児歯科健診・3歳児歯科健診 保健福祉センターの1歳6ヶ月児健診・3歳児健診時に歯科健診を実施</p>	<p>○妊婦歯科健診の拡充 自己負担500円を無料化し、受診しやすい環境づくりを構築する。 【目標】 受診者数 3,043人(妊婦の20%)</p> <p>○歯周疾患検診(節目)の拡充 新たに35歳を対象とし、若いころからの予防の強化を図る。</p> <p>○引き続き取り組みを実施 ・乳幼児歯科健診 ・障がい児歯科健康審査 ・妊婦歯科保健指導 ・1歳6ヶ月児歯科健診・3歳児歯科健診</p>	<p>千円</p> <p>45,768</p>

カ 食育の推進

21,504千円

事業名	事業内容		予算額
	これまでの取り組み	24年度の実行方針	
食育推進事業	<p>○第2次福岡市食育推進計画を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親と子の料理教室, 学生料理教室の開催</li> <li>・福岡市栄養成分表示の店, 福岡市健康食育サポート店の店舗数の拡大に努めた。</li> </ul>	<p>○第2次福岡市食育推進計画の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の朝食摂食率や女性の低体重などの課題への取り組み推進</li> <li>・引き続き福岡市栄養成分表示の店, 福岡市健康食育サポート店の店舗数の拡大に努める。</li> </ul>	千円
	<p>○各区独自事業</p> <p>【平成23年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東区: 保育園, 幼稚園, 公民館等で講話, 試食, 調理実習等を行い, 朝食に関するアンケート実施</li> <li>・博多区: 親子食育教室開催</li> <li>・南区: 若者期食育推進ワーキング, コンビニエンスストアで販売する朝食の商品開発, 食育講演会</li> <li>・城南区: 食育相談会, 料理講習会</li> <li>・西区: 出前講座, 各種料理教室, ホークス応援食育弁当コンテスト実施</li> </ul>	<p>○各区の実情にあわせ, 創意工夫をこらして実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理などの食文化継承のための食育講座, 食育リーダー養成講習会(博多区), 若者期食育推進ワーキング(南区), 未就学児・学童及びその保護者を対象とした料理講習会(城南区)など。</li> </ul>	21,504

## 8 評価について

### ○ 健康目標の達成度

- ・ 各種データを集計し、4段階評価を行う

評価区分 A：目標値に達している

B：目標値に近づいている

C：策定時の値と同じか遠ざかっている

－：評価不能

- ・ 平成13年度、18年度市民アンケートにより把握した項目については、今年度実施予定。

#### 市民アンケート

- ・ 対象者 市内在住の12歳以上の男女 5,000名
- ・ 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ・ 調査方法 郵送による配布及び回収
- ・ 調査期間 平成24年10月
- ・ 回収率（見込み） 40%

### ○ 地域における活動状況調査

- ・ 健康ふくおか10か条に基づく地域での活動状況調査
- ・ 校区・区役員アンケート
- ・ 関係団体（大学等）へのアンケート
- ・ 校区担当保健師アンケート
- ・ 各区保健福祉センター・地域保健福祉課・健康課アンケート

### ○ 調査結果を次回専門分科会で報告

9 「健康日本21福岡市計画」推進 成果指標

分野	指 標	目 標 値	策定時値 (H13)	中間値 (H18)	追加・増 補時の現 状値・基 準値 (H20)	現状値	評価	
運 動	運動習慣をもつ人(10～20歳代) (市民アンケート)	男性 女性	70%以上 60%以上	64.5% 48.8%	62.6% 49.2%		○	
	運動習慣をもつ人(30～50歳代) (健康診査問診)	男性 女性	55%以上 55%以上	44.7% 43.6%	42.6% 39.3%		(参考値) 30.3% 21.0%	— —
	運動習慣をもつ人(60歳以上) (健康診査問診)	男性 女性	75%以上 66%以上	65.9% 57.4%	63.1% 52.6%		(参考値) 55.1% 45.1%	— —
	1日30分以上速歩で歩く人(30～64歳) (市民アンケート)		50%以上	—	34.4%		○	
	意識して生活の中で歩く人(30～64歳) (市民アンケート)	男性 女性	70%以上 70%以上	/	61.0% 63.8%		○	
	意識して生活の中で歩く人(65歳以上) (市民アンケート)	男性 女性	85%以上 80%以上	/	76.7% 69.2%		○	
	メンタル	ストレスのために体調を崩す人(10～20歳代) (市民アンケート)	男性 女性	25%以下 40%以下	35.5% 55.7%	34.1% 53.9%		○
気分転換やストレス解消のために行動する人(成人期) (健康診査問診)		男性 女性	75%以上 75%以上	69.1% 66.5%	67.5% 68.6%		○	
何らかの地域活動を実践している人(高齢者期) (市政に関する意識調査)			65%以上	42.4%	50.5%		○	
睡眠が不足している人(若者期) (市民アンケート)			21%以下	/	/	34.1%	○	
睡眠が不足している人(成人期) (市民アンケート)			21%以下	/	/	29.1%	○	
睡眠が不足している人(高齢者期) (市民アンケート)			10%以下	/	/	16.6%	○	
自殺者数(若者期) (人口動態統計)			(参考値)	/	/	43人	(参考値) 49人	—
自殺者数(成人期) (人口動態統計)		平成28年 までに、 17年の自 殺者数 を、20% 以上減少	/	/	228人	(参考値) 216人	—	
自殺者数(高齢者期) (人口動態統計)			/	/	50人	(参考値) 76人	—	
楽 しい 食 事	朝食を毎日食べる人(幼児) (幼児期の健康と食生活に関する調査) (財団 幼児期の生活習慣調査)		100%	80.1% —	— 82.9%		89.6%	B
	朝食を毎日食べる人(小学生) (朝食調査・教育委員会)		100%	83.2%	81.2%		91.1%	B
	朝食を毎日食べる人(10～20歳代) (市民アンケート)	男性 女性	70%以上 80%以上	56.4% 68.7%	54.5% 67.0%		○	
	腹八分目の食事をとる人(成人期) (健康診査問診)	男性 女性	80%以上 80%以上	67.5% 69.2%	68.6% 77.6%		(参考値) 70.9% 77.8%	— —
	楽しい雰囲気でする人(成人期・高齢者期) (健康診査問診)	男性 女性	75%以上 80%以上	65.3% 71.9%	61.8% 67.9%		(参考値) 62.1% 67.7%	— —
	1日3食規則正しく食べる人(成人期) (健康診査問診) (市民アンケート)	男性 女性 男性 女性	75%以上 90%以上	59.3% 79.1% — —	— — 56.5% 73.2%		○	

分野	指 標		目 標 値	策定時値 (H13)	中間値 (H18)	追加・増 補時の現 状値・基 準値 (H20)	現状値	評価	
楽しい食事	緑黄色野菜をほとんど毎日食べる人(成人期)	男性	50%以上	32.2%	28.0%		(参考値) 28.7%	—	
	(健康診査問診)	女性	75%以上	56.9%	49.8%		51.8%	—	
	よく噛んで食事する人(高齢者期)	男性	20%以上	9.1%	9.9%		(参考値) 11.9%	—	
	(健康診査問診)	女性	20%以上	8.9%	10.2%		11.0%	—	
	濃い味付けの食事をする人(高齢者期)	男性	12%以下	24.6%	28.0%		(参考値) 26.4%	—	
(健康診査問診)	女性	5%以下	8.9%	10.2%		8.3%	—		
食育に関心がある人(20歳以上)			90%以上		77.6%		92.6%	A	
(平成18年度市民アンケート)									
健康管理	健康(適正)体重を維持している人								
	(健康診査データ)	18～20歳代のやせすぎの女性	15%以下	27.7%	29.2%		31.5%	C	
	(健康診査データ)	30～50歳代肥満男性	20%以下	30.5%	33.2%		31.6%	C	
	(健康診査データ)	40歳以降の肥満女性	15%以下	19.8%	20.5%		15.7%	B	
	未成年者の喫煙	中1男子	0%	7.5%	3.2%		1.6%	B	
	(未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	中1女子	0%	3.8%	2.4%		0.9%	B	
	未成年者の喫煙	高3男子	0%	36.9%	21.7%		8.6%	B	
	(未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	高3女子	0%	15.6%	9.7%		3.8%	B	
	たばこを吸う人(成人期)	男性	40%以下	59.6%	47.3%		36.4%	B	
	(4ヶ月児健康診査時の父母への問診)	女性	8%以下	12.6%	9.5%		5.2%	B	
	妊婦の喫煙			0%	8.8%	7.4%		4.5%	B
	(4ヶ月児健康診査時の母への問診)								
	未成年者の飲酒	中3男子	0%	25.4%	16.7%		7.4%	B	
	(未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	中3女子	0%	17.2%	14.7%		10.1%	B	
	未成年者の飲酒	高3男子	0%	51.5%	38.5%		21.3%	B	
	(未成年の喫煙・飲酒行動に関する全国調査)	高3女子	0%	35.9%	32.0%		17.1%	B	
	毎日飲酒する人(成人期)	男性	20%以下	33.6%	30.2%		○		
	(健康診査問診)	女性	3%以下	5.6%	5.4%				
	一人平均むし歯数(3歳児)			1歯未満	1.2歯	1.0歯		0.68歯	B
	(3歳児健康診査問診)								
一人平均むし歯数(12歳児)			1歯未満	2.3歯	1.8歯		1.38歯	B	
(学校保健統計調査)									
歯の定期的なチェックを受ける人(20歳代)			45%以上	10.5%	—		○		
(平成10年度健康・医療に関する市民意識調査)				—	36.5%				
(市民アンケート)									
歯の定期的なチェックを受ける人(20～64歳)			55%以上	16.1%	—		○		
(平成10年度健康・医療に関する市民意識調査)				—	42.7%				
(市民アンケート)									
国保特定健診受診率(成人期)			65%			15.2%	18.8%	B	
(基本健康診査、国保特定健診データ)									
国保特定保健指導実施率(成人期)			45%			29.9%	37.2%	B	
(国保特定健診等データ)									
国保特定健診で要医療と判定された人の医療機関受診率(成人期)			100%				不明	—	
(国保特定健診データ、国保レセプト〔電子化〕データ)									

分野	指 標	目 標 値	策定時値 (H13)	中間値 (H18)	追加・増 補時の現 状値・基 準値 (H20)	現状値	評価	
健康管理	がん検診受診率(成人期) (市がん検診データ)	胃Ca 子宮Ca 乳Ca 大腸Ca	50%以上	7.0% 14.6%	9.0% 16.3%	8.5% 27.9%	8.5% 36.7%	C B
	相談できるかかりつけ医をもっている人(高齢者期) (福岡市高齢者実態調査)		90%以上	80.5%	80.4%		81.6%	B
	自分の歯を有する人(75歳～84歳)20歯以上 (福岡市高齢者実態調査)		35%以上		28.4%		40.2%	A
	進行した歯周炎を有する人 (歯科節目健診データ)	40歳 50歳	22%以下 33%以下			27.9% 36.4%	20.6% 41.9%	B C
シメン タボロ リック	メタボリックシンドロームを認知している人(30～64歳) (市民アンケート)		100%		85.40%		○	
	メタボリックシンドローム予備群の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	平成20年 度から 10%以上 減少			(参考値) 9.50% 7.80%	18.90% 6.20%	C B
	メタボリックシンドローム該当者 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性				(参考値) 16.20% 9.30%	22.40% 6.80%	C B
糖尿 病	糖尿病を放置すると大きな合併症が発生することを 認識している人(40歳以上) (市民アンケート)		100%	—	95.00%		○	
	健診で血糖値が高いと言われた人の中で、定期的を受診する人 (40歳以上) (糖尿病実態調査)		100%	51.30%	54.90%		(参考値) 55.70%	—
	糖尿病予備群の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	現状値か ら 10%以上 減少			25.40% 23.20%	20.30% 19.20%	B B
	糖尿病有病者の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性				18.10% 8.60%	14.60% 6.40%	B B
高血 圧	年1回の定期健診以外でも血圧を測る人(40歳以上) (市民アンケート)		100%	—	74.90%		○	
	高血圧症予備群の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	現状値か ら 10%以上 減少			22.80% 21.50%	14.30% 13.30%	B B
	高血圧症有病者の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性				39.20% 30.90%	49.00% 36.40%	C C
動脈 硬化 性疾 患	脳卒中の典型的な初期症状を認識している人(40歳以上) (市民アンケート)		100%	—	77.60%		○	
	脂質異常症有病者の人 (基本健康診査、国保特定健診データ)	男性 女性	現状値か ら 10%以上 減少			49.60% 48.40%	45.20% 52.60%	B C
	脳卒中による死亡率(年齢調整) (人口動態統計)	男性 女性				42.9人 23.3人	40.8人 21.8人	B B
	虚血性心疾患による死亡率(年齢調整) (人口動態統計)	男性 女性				28.0人 11.6人	21.0人 9.6人	A A

※「現状値」欄の「○」は市民アンケートで把握予定のもの。

※「現状値」欄の数値は、H22、23年度の数値を掲示。

H21年度以前の数値は、「参考値」として掲示した。

#### 判定区分

福岡市 評価	
A	直近値が目標値に達している
B	直近値が目標値に近づいている
C	直近値が策定時値と同じか遠ざかっている
—	策定時の値が無い等評価できない